

# 高橋純平は3球団が競合した結果、ソフトバンクへ

# 2015年ドラフト結果

ドラフト本会議指名

88名

育成ドラフト指名

28名

	6位	7位	8位	9位	10位
61 ↓	足立 祐一 捕手・パナソニック	→ 80 村林 一輝 内野手・大塚高	選択終了		
62 ↓	青柳 昂樹 外野手・大阪桐蔭高	↑ 79 野川 拓斗 投手・鷺宮製作所	選択終了		
63 ↓	佐藤 世那 投手・仙台育英高	↑ 78 鈴木 昂平 内野手・三菱重工名古屋	81 ↓ 角屋 龍太 投手・ジェイプロジェクト	→ 86 赤間 謙 投手・鷺宮製作所	87 ↓ 杉本 裕太郎 外野手・JR西日本
64 ↓	石岡 諒太 内野手・JF東日本	選択終了			
65 ↓	本田 圭佑 投手・東北学院大	↑ 77 呉 念庭 内野手・第一工業大	82 ↓ 國場 翼 投手・第一工業大	↑ 85 藤田 航生 投手・弘前工高	88 松本 直晃 投手・香川オリーブガイナーズ
66 ↓	仲尾次 オスカル 投手・Honda	↑ 76 青木 陸 内野手・山形中央高	選択終了		
67 ↓	信樂 晃史 投手・宮崎梅田学園	↑ 75 高野 圭佑 投手・JF西日本	選択終了		
68 ↓	板山 祐太郎 外野手・亜細亜大	選択終了			
69 ↓	横尾 俊建 内野手・慶應義塾大	↑ 74 吉田 侑樹 投手・東海大	83 ↓ 姫野 優也 外野手・大阪信愛学院高	選択終了	
70 ↓	巽 大介 投手・岩倉高	↑ 73 中川 皓太 投手・東海大	84 → 松崎 啄也 捕手・日本製紙石巻	選択終了	
71 ↓	川瀬 晃 内野手・大分商高	選択終了			
72 →	渡邊 大树 内野手・専大松戸高	選択終了			

## 本命不在のドラフト……

1年前の2015年ドラフト戦線を振り返ると、即戦力の大学生投手が多く、人気を集める一方で、将来性を買って、思い切って高校生投手を指名する球団もあるだろう、という構図だった。

しかし、春から夏にかけて今永昇太(駒澤大)、多和田真三郎(富士大)がそろって故障し、上原健太(明治大)などは不調で結果が出ず、有力どころの大学生はそろって不安を残す1年を過ごした。

センバツで高いポテンシャルを見せつけた高橋純平(県岐阜商高)は、夏前に肉離れをおこし甲子園への道は絶たれた。

代わりに小笠原慎之介(東海大相模高)やオコエ瑠偉(関東一高)などが台頭するも、社会人、大学生も含めて、これという絶対的な選手は現れなかった。

## フタを開けると大卒の指名が

本命不在のまま開催された今年のドラフト会議では、現行ルール(1球団最大10名まで指名可)になった1991年以降、一括で開かれたドラフトでは91年に次ぐ2番目に多い88選手の指名があった。

新陳代謝を図りたい球団事情と期待したい原石タイプ、一芸に秀でた選手など、指名しなくなる選手層は厚かったことが、この指名の多さにつながったと言える。

もう一つの特徴は各球団の方向性が色濃く出た、ということだ。この色の強さが正解だったかどうかは、数年後にまた振り返りたい。

続く、育成ドラフトでは28名が指名され、総勢116名がプロ野球の世界に入ることとなった。

それでは、次のページから球団別に2015年のドラフト結果と近未来について分析していこう。